

2023年6月4日（日）環境日本一仙台を目指す

市民フォーラムⅣワークショップにて出された参加者の意見
テーマ 水「広瀬川の清流を守るには？」

- ・家庭などで使用する合成洗剤を減らす。
（石鹼を入口に環境問題を考え直す）
- ・河川を汚染する農薬の使用を削減する。
- ・マイクロプラスチックの問題も含めて排水を見直す。
- ・雨水と汚水について大雨になると下水に大量の雨水が流れ込んで下水マンホールのフタが持ち上がる。
- ・広瀬川の現状を伝え、市民の関心を高める。
- ・広瀬川や大倉ダムの管理が宮城県なのはおかしい。仙台市が管理し、広瀬川を積極的に活用してほしい。
- ・島野市政時代に作成した「広瀬川の清流を守る条例」は素晴らしいが、現在その条例が棚上げ状態になっている。改めてこの条例を見直して生かすべきだ。
- ・広瀬川の川辺をもっと観光資源として活用すべきだ。（京都の鴨川のように）散歩道、サイクリングロード、市民マラソンの実施等
- ・学校の教育現場で子供たちにもっと広瀬川の生物などについて興味を持つような学習をする。
- ・農繁期になると広瀬川の水が少なくなり、魚類の生息が危うくなる。
何とかならないか。
- ・治山、治水の基本的なガバナンスの問題。（生命、安全、財産、食、農）しょうがないが、自然環境が最後になっている。
- ・市民全体で広瀬川を守っていく意識を持つために行動していく。
（定期清掃も市政だよりで知らせる。）清掃後に楽しい交流会を開く。
- ・親水公園をもっと増やす。（子供たちに水遊びをさせる工夫をする。）
- ・国、県、仙台市のマネジメントシステムの構築。
- ・農薬の空中散布を認めない。
- ・河川、水問題を広く広報する。
- ・まだ問題化もしていないが冬期間に大量に散布する融雪剤の影響で広瀬川や名取川の上流部で小魚が少なくなっている。
（融雪剤の影響を調査してほしい。）
- ・広瀬川の中州が日々大きくなっている。最近あちこちで発生している集中豪雨で氾濫しないか心配だ。
- ・広瀬川の管理を仙台市に移管できないか。

- ・ 広瀬川を守るには市民がもっと汗を流すことが必要だと思う。
（行政まかせにしない！）
- ・ 広瀬川は仙台のシンボルなので市民全体で守っていくシステムをつくる。